

第63期 決算のご報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

株主通信

CONTENTS

- ① 株主の皆様へ
- ② 連結決算ハイライト
- ③ トピックス
- ⑤ 連結財務諸表
- ⑦ セグメント別概況
- ⑨ 会社の概要



株式会社 丸順

証券コード：3422

株主の皆様へ

ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 さて、このたび当社第63期決算（2020年4月1日から2021年3月31日まで）を終了いたしましたので、ご報告を申し上げます。
 株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役 社長執行役員 **齊藤 浩**

連結業績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な流行の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の低迷が続く等厳しい状況にあるものの、徐々に持ち直しの傾向にあります。しかしながら、本格的な回復には至っておらず依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、年度後半以降の国内需要は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルスの影響で主要メーカーが工場を一時操業停止したこと等の要因により販売台数は減少しております。中国では、乗用車における国内各地の消費促進策やインフラ投資などの政策を受け、商用車、新エネルギー車を中心に自動車需要は回復傾向にあるものの、年間を通じた販売台数は減少しております。日本では、緊急事態宣言の発令による外出自粛や、先行き不安による買い控えの影響等により登録車及び軽自動車ともに販売台数は減少しております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の3年目として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は44,821百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は4,464百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益は4,247百万円（前年同期比11.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,511百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

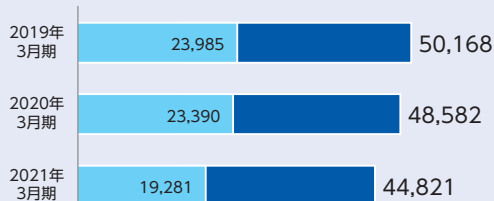
当社グループでは、競争力基盤の確立としてボディ部品事業（車体骨格部品事業）を「主力事業」、電動化部品事業及び金型事業を「戦略事業（次の10年に飛躍するための成長ドライバー）」に位置づけ、経営資源を集中し、規模に見合った効率経営と競争力強化を目指し、売上高営業利益率をKPI（重要業績評価指標）としております。売上高営業利益率については、当連結会計年度では10.0%となり、中長期5か年計画最終年度となります2023年3月期目標値9.0%以上の達成に向けて順調に推進しております。

連結決算ハイライト

売上高

44,821百万円 • 前年同期比 ↓

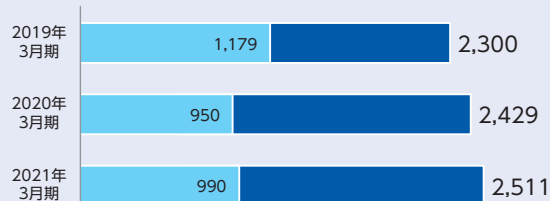
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

2,511百万円 • 前年同期比 ↑

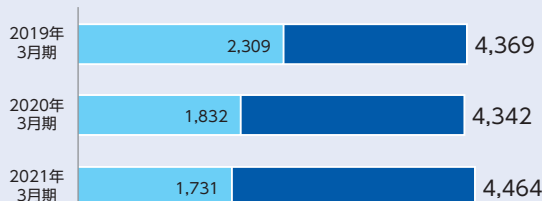
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円)



営業利益

4,464百万円 • 前年同期比 ↑

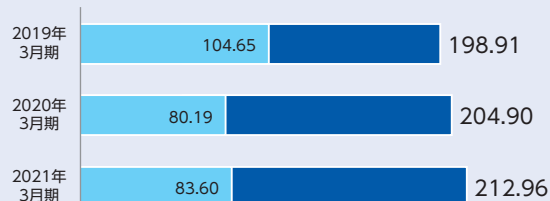
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円)



1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益

212.96円 • 前年同期比 ↑

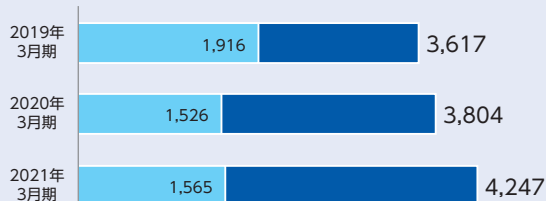
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：円)



経常利益

4,247百万円 • 前年同期比 ↑

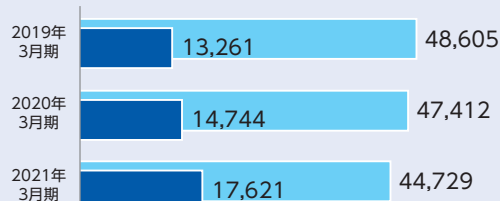
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円)



総資産・純資産

44,729百万円 • 17,621百万円

■ 総資産 ■ 純資産 (単位：百万円)



トピックス

Topics 1 東京証券取引所 市場第二部 上場

当社は、2021年3月12日に、東京証券取引所 市場第二部へ新規上場をいたしました。株主の皆様、お取引会社の皆様をはじめとする多くのステークホルダーの皆様のご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

当社は、1952年の創業以来、金型技術や超ハイテンプレスの加工の技術を磨くことでお客様に貢献してまいりました。この度の東証上場に伴う企業認知度及び信用力向上により、営業活動の強化、資金調達の多様化、ガバナンス体制の強化を推進し、更なる収益力と企業体質の向上に努めてまいります。

引き続き、株主の皆様の一層のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



Topics 2 日本丸順 新基幹システムの稼働開始

日本丸順は、中長期事業戦略の1つである「全ての業務の管理手法（見える化）再構築とシステム化」の一環として、システムメーカーの協力のもと基幹システムを開発し、2021年5月より順次稼働を開始いたしました。

当「基幹システム」は、生産現場の生産見える化システムや自動倉庫管理システムと連携することで、生産計画及び生産実績の自動生成、リアルタイム在庫管理、個別部品原価管理の機能を有しております。各情報をリアルタイムで見える化することで、潜在的なロスや弱点領域に対して、より重点指向でスピードある改善を支援できます。今後、基幹システム運用効果を最大化することで、固定費の削減と生産体質の向上を図ってまいります。

Topics 3 日本丸順 新型VEZEL部品量産開始

日本丸順は、本田技研工業株式会社（以下、ホンダ）及び資本業務提携先である東プレ株式会社（以下、東プレ）から受注しました、「新型 VEZEL（2021年4月発売）」の部品の量産を開始いたしました。

この「新型 VEZEL」は、「世界に、あたらしい気分を。」をキャッチコピーとして、先代から大きく変化したスタイリングや、e:HEV（2モーターハイブリッドシステム）採用により大きく進化したパワートレインによって、新しいSUVの姿を創造させるモデルです。

当社の得意とする超ハイテンプレスの加工及び電動化部品加工の技術を活かし、ボディ骨格部品では panoramaluft 廻りのフレーム部品及びバンパービーム部品を、電動化部品では IPU（インテリジェントパワーユニット）廻りの部品を受注し、「新型 VEZEL」の車造りに貢献しております。

今後も更に高まる自動車の電動化ニーズに向けて、軽量化や高難易度成形や高精度化の技術を鍛え上げ、更なる部品及び金型の受注拡大に努めてまいります。



本田技研工業株式会社「VEZEL」



「VEZEL」当社受注部品群

Topics
4

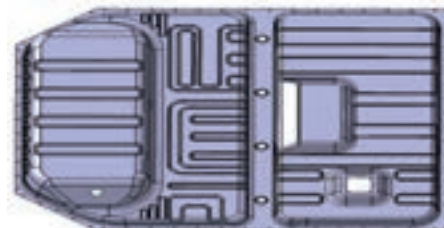
CATL 量産部品受注

広州丸順社は、車載用電池市場において世界トップシェアを誇る寧徳時代新能源科技股份有限公司（以下、CATL）と、2020年に試作受注から取引を開始し、この度、2021年量産開始となる電気自動車のバッテリーカバーの部品を受注いたしました。

当該部品は電気自動車のバッテリー部分を覆う大物部品であり、開発営業・金型・品質・生産の各部門が一体となって、これまでの受注実績による経験及び長年培った金型技術を結集し、受注につなげることができました。

この度の受注により、当社グループは業界トップシェアのCATL及びパナソニック株式会社の関係会社であるプライムプラネットエナジー&ソリューションズ等グローバルに量産部品を受注することとなり、今後更に加速する電動化需要において、日中における売上拡大の足掛かりを築きました。

当社グループは電動化部品事業について、次の10年に飛躍するための戦略事業として位置づけており、大容量バッテリーユニット部品を戦略的重要部品として、引き続き継続受注していけるよう対応してまいります。



類似部品イメージ

Topics
5

NC加工機の導入

日本丸順は、中長期経営計画に掲げる「金型の内製能力拡大」に向けて、2018年7月に続き2020年12月に新たに大型NC加工機を新規導入いたしました。

同設備は金型の形状加工はもとより、加工全般において対応できる仕様となっており、これまで以上に、製造工程における自動化領域の拡大が可能となりました。この度の設備導入により、設備稼働率が向上し金型の内製能力拡大及び原価低減に貢献しております。

当社は金型事業についても、戦略事業として位置づけており、今後の事業拡大に向け、更なる収益力の向上に努めてまいります。



大型NC加工機起動式にて



2020年12月導入大型NC加工機

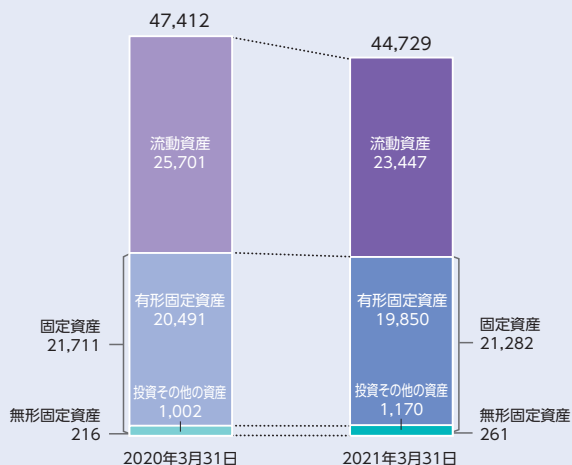
連結財務諸表

(単位：百万円)

連結貸借対照表(要旨)

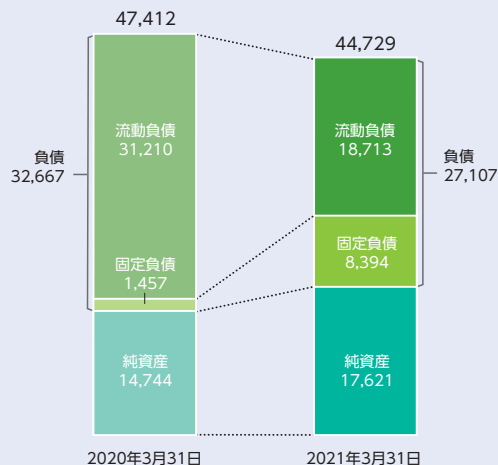
資産の部

(単位：百万円)



負債・純資産の部

(単位：百万円)



《資産の部》内訳		2020年3月31日	2021年3月31日
流動資産	現金及び預金	9,859	9,352
	受取手形及び売掛金	11,542	10,215
	有価証券	200	—
	商品及び製品	396	337
	仕掛品	2,333	2,044
	原材料及び貯蔵品	707	796
	その他	660	700
有形固定資産	建物及び構築物	4,990	4,628
	機械装置及び運搬具	6,924	7,091
	工具、器具及び備品	5,366	4,935
	土地	639	619
	リース資産	529	34
	建設仮勘定	2,041	2,541
	無形固定資産	216	261
その他の資産	投資有価証券	250	286
	退職給付に係る資産	132	249
	繰延税金資産	233	264
	その他	393	381
	貸倒引当金	△7	△10

(単位：百万円)

《負債・純資産の部》内訳		2020年3月31日	2021年3月31日	
負債の部	流動負債	支払手形及び買掛金	5,764	6,342
		短期借入金	11,520	6,970
		1年内返済予定の長期借入金	9,906	1,011
		リース債務	145	19
		未払金	2,013	1,752
		未払法人税等	288	371
		賞与引当金	169	186
	役員賞与引当金	11	11	
	その他	1,390	2,046	
	固定負債	社債	—	1,500
長期借入金		—	5,451	
リース債務		28	14	
退職給付に係る負債		1,193	1,181	
役員株式給付引当金		—	8	
純資産の部	株主資本	資本金	1,950	1,950
		資本剰余金	1,967	1,952
		利益剰余金	6,932	9,349
		自己株式	△0	△75
	その他の利益剰余金	その他有価証券評価差額金	13	48
		為替換算調整勘定	1,182	1,303
		退職給付に係る調整累計額	△87	60
非支配株主持分	2,784	3,033		

連結貸借対照表について

資産総額の減少要因は、現金及び預金が507百万円減少、受取手形及び売掛金が1,327百万円減少、有価証券が200百万円減少、工具、器具及び備品並びにリース資産等の有形固定資産が641百万円減少したこと等であります。負債総額の減少要因は、短期借入金が4,549百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が8,894百万円減少、社債が1,500百万円増加、長期借入金が5,451百万円増加したこと等であります。純資産の増加要因は、利益剰余金が2,416百万円増加、非支配株主持分が248百万円増加したこと等であります。

連結損益計算書について

売上高は、中国（広州・武漢）においては新型コロナウイルス影響以降の客先の生産回復により増収となったものの、タイにおける客先の減産影響が大きく減収となりました。営業利益及び経常利益については、新型コロナウイルスによる減産影響を最小限に留めるため、各拠点における体質強化策の実施及び金融関連費用の減少に加え、中国において新型コロナウイルス影響による生産停止に伴う費用を特別損失に振り替えたこと等により、増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の回収可能性見直しに伴い法人税が減少したこと等により増益となり、各利益段階で過去最高益となりました。

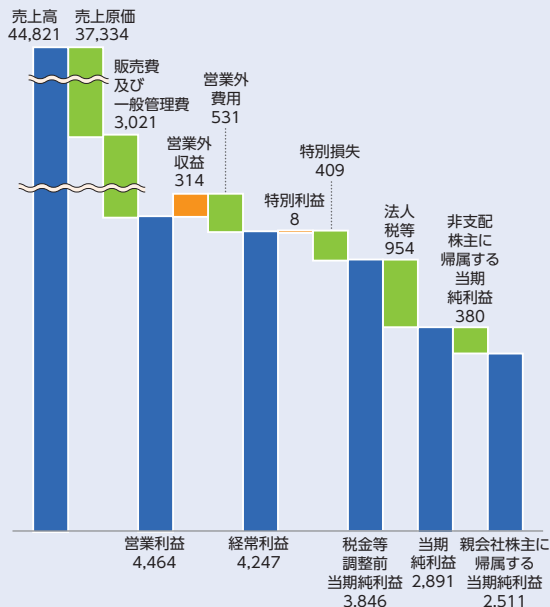
連結キャッシュ・フロー計算書について

現金及び現金同等物の期末残高は9,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ507百万円減少いたしました。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益3,846百万円、減価償却費3,713百万円、売上債権の減少額1,475百万円等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2,635百万円等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金4,333百万円の減少、長期借入金3,379百万円の減少のほか、社債の発行による収入1,500百万円等によるものです。

連結損益計算書（要旨）

2020年4月1日～2021年3月31日

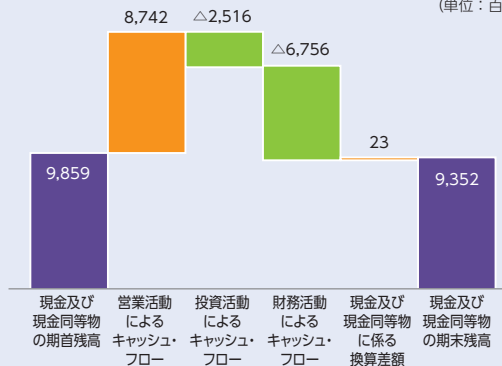
（単位：百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

2020年4月1日～2021年3月31日

（単位：百万円）



セグメント別概況

セグメント別

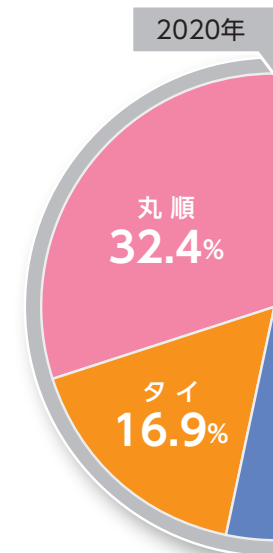
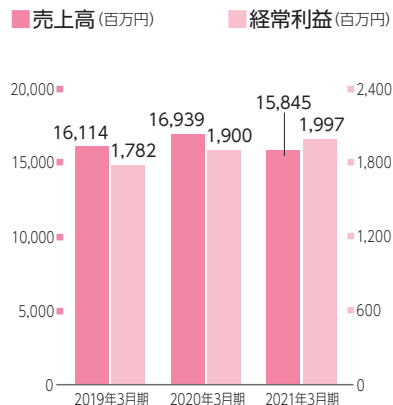
丸順
〔株式会社丸順〕

減収増益

丸順においては、新型コロナウイルスの影響による主要客先の一部生産停止及び減少により売上高は減少しましたが、製品の積載効率見直し等の輸送コスト削減に加え、新型コロナウイルスの影響による輸入停止に伴う代替生産部品が増加したこと等により利益は増加しました。

以上の結果、売上高は15,845百万円（前年同期比6.5%減）、経常利益は1,997百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

丸順については、資本業務提携先である東プレ株式会社とのシナジーにより、受注先の拡大を推進するとともに、ハイテン加工技術等の中核技術を進化させる等、中長期5か年計画を強力に推進し、グループ全体の競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めております。

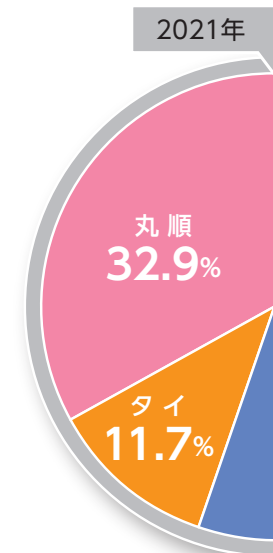
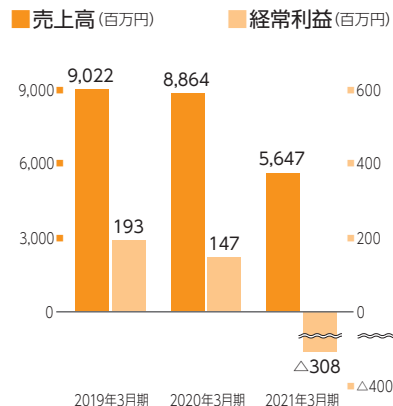
タイ
〔タイ・マルジュン社〕

減収減益

タイにおいては、新型コロナウイルスの影響により主要客先において自動車部品の生産停止及び減少となり、売上高は減少しました。また、要員削減を中心とした労務費及び経費等の固定費削減に取り組んだものの、生産停止及び減少に伴う減収の影響が大きく、利益は減少しました。

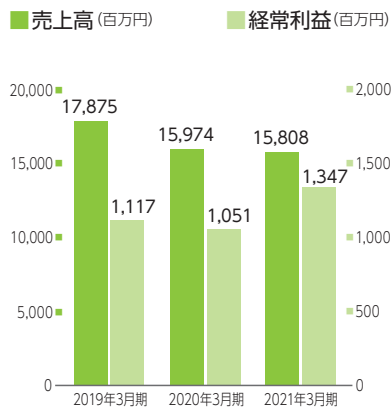
以上の結果、売上高は5,647百万円（前年同期比36.3%減）、経常損失は308百万円（前年同期は147百万円の経常利益）となりました。

タイについては、タイ及び輸出先である周辺国を含め成熟市場と認識しております。低成長下において安定的な収益を確保するため、労務費や購入費等の原価低減を中心とした構造改革の取り組みを開始いたしました。



売上高構成比率

3月期



減収増益

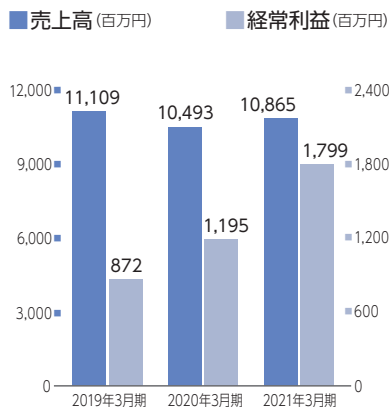
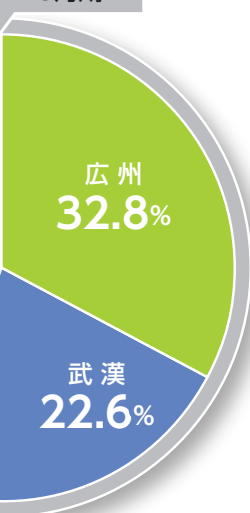
広州においては、新型コロナウイルスの影響により2月から3月にかけて生産停止及び減少となったものの、その後の自動車市場回復に伴う主要客先の生産増加等の影響により、売上高は現地通貨ベースでは増加したものの、円高による為替の変動により邦貨ベースでは前年同期とほぼ同水準となりました。また、生産設備の集約化及び自動化の推進に伴う労務費等の固定費削減の取り組みに加え、生産停止に伴う費用の特別損失への振り替え等により、利益は増加しました。

以上の結果、売上高は15,808百万円（前年同期比1.0%減）、経常利益は1,347百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

広州については、伸び行く中国拠点のマザー機能を有し、電動化部品等の新規受注拡大にも積極的に取り組み、売上や利益等の業績面だけでなく、事業活動においても当社グループを支える中核拠点となっております。

【広州丸順汽車配件有限公司】
広州

3月期



増収増益

武漢においては、新型コロナウイルスの影響により2月から3月にかけて生産停止及び減少となったものの、その後の自動車市場回復に伴う主要客先の生産増加等の影響により、売上高は増加しました。また、購入費及び労務費等の継続的な製造原価低減の取り組みのほか、量産車種終了に伴う金型投資費用の未回収分の回収及び生産停止に伴う費用の特別損失への振り替え等により、利益は増加しました。

以上の結果、売上高は10,865百万円（前年同期比3.5%増）、経常利益は1,799百万円（前年同期比50.5%増）となりました。

武漢については、グループの中で最も成長著しい市場環境にあり、順調な売上伸長となっております。また、生産の効率化や原価低減活動による量産機能の強化に積極的に取り組み、売上伸長に伴った利益率を確保しております。

【武漢丸順汽車配件有限公司】
武漢

会社の概要

会社概況

(2021年3月31日現在)

商号

株式会社 丸順
(英文社名: MARUJUN CO., LTD.)

創業

1952年7月

設立

1960年1月

資本金

1,950百万円

事業内容

自動車用車体プレス部品の製造
自動車用精密プレス部品の製造
各種金型の設計・製作
治具・検査具の設計・製作

従業員数

318名 (連結2,075名)

電話番号 (代表)

0584-46-3191

役員

(2021年6月25日現在)

1. 取締役・監査役

代表取締役 齊藤 浩

取締役 青山 秀美

取締役 猪熊 篤俊

取締役 山崎 英次

取締役 露木 好則

取締役 竹内 治彦

取締役 柳澤 民紀

取締役 大倉 睦美

常勤監査役 堀田 政道

監査役 馬淵 仁

監査役 水谷 博之

2. 執行役員

社長執行役員 齊藤 浩

常務執行役員 青山 秀美

常務執行役員 猪熊 篤俊

上席執行役員 松井 恒夫

上席執行役員 棚橋 哲郎

上席執行役員 山崎 英次

執行役員 森 和行

執行役員 小見山 肇

執行役員 山口 忠美

(注) 1. 取締役 竹内治彦氏、取締役 柳澤民紀氏、取締役 大倉睦美氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 馬淵 仁氏、監査役 水谷博之氏は、社外監査役であります。

事業拠点

(2021年6月25日現在)

本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

鈴鹿工場

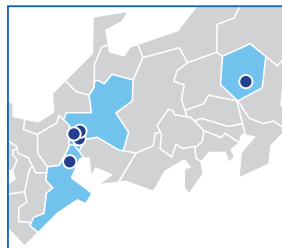
三重県鈴鹿市国府町7755

(株式会社 日本陸送内)

栃木開発センター

栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-40

とちぎ産業交流センタービル202号室



広州丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市

広州経済技術開発区永和経済区

永盛路8号



武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市

東湖新技術開発区光谷一路223号

タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN

NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG

KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

ベステックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,

DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	11,857,200株 (自己株式289株含む)
株主数	1,830名

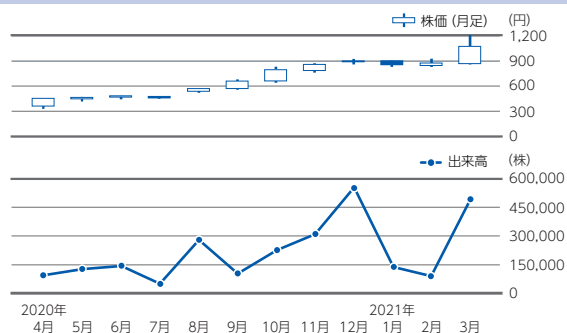
大株主の状況

(2021年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
東プレ株式会社	2,370,700	19.99
今川喜章	1,022,770	8.63
本田技研工業株式会社	988,950	8.34
太平洋工業株式会社	463,950	3.91
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.13
今村金属株式会社	343,400	2.90
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	2.74
丸順取引先持株会	308,200	2.60
株式会社大垣共立銀行	300,000	2.53
有限会社イマガワ	300,000	2.53

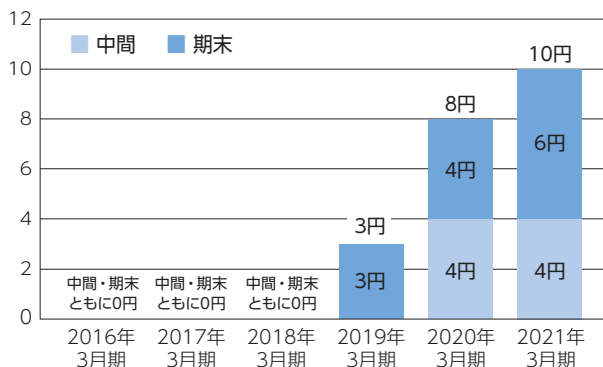
(注) 当社は、自己株式289株を保有しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価チャート



※ 当社は2021年3月12日付で東証二部へ上場しております。
2021年3月の各数値に関しまして、3月12日以降は東証二部における実績にて算出しております。

配当金の推移

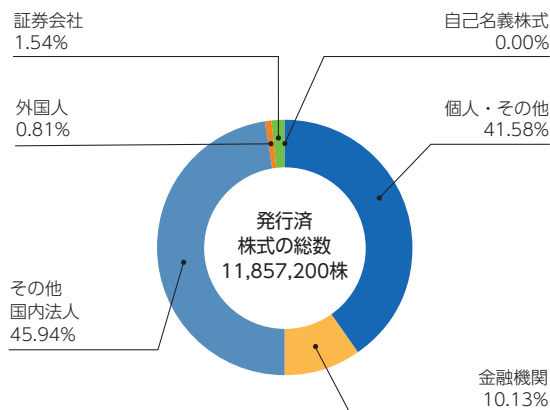


当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つであると考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

上記方針に基づき、当期における年間配当金は、1株につき10円（中間配当は4円、期末配当は普通配当4円、東京証券取引所市場第二部への上場に伴う記念配当2円）を実施させていただきます。

株式数構成比

(2021年3月31日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

定時株主総会基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

 ホームページ

決算情報をはじめとするIR情報から技術の紹介など様々な会社情報を随時更新・掲載しております。ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.marujun.co.jp/>

丸 順

検索

